



## 【令和4年度 卒業証書授与式】～それぞれの思いを胸に羽ばたいて～



3月13日（月）少し肌寒さを感じつつも柔らかい日差しに春を感じる好天のもと、小学部3名、中学部4名、高等部7名の児童生徒が卒業を迎えました。

約3年の新型コロナウイルス感染対策として制限された学校生活を送ってきた児童生徒たち、今日の卒業式ではマスクを外し、式場に胸を張って笑顔で入場している姿にお父さん、お母さん、家族のみんな、そして学校のみんなありがとうという思いと、これまで我慢してきたことから解放される喜びの笑顔なのだろうなと感じました。

卒業証書授与では、呼名をする担任の声を最後まで聞き、一人一人が大きな返事をし、凛々しい姿で壇上に立ち、緊張しつつも力強く証書を受け取ってくれました。手に取る姿からそれぞれの成長が伝わってきました。

With コロナから Post コロナへと変わりゆく社会情勢の中で、それぞれが思い描く自分の夢や憧れ、将来の実現に向けて羽ばたいてくれることを期待しています。「できるかな」ではなく、「やってみよう」をあいことばに、いろいろなことに挑戦し続けてください。

みなさんの輝かしい未来を心から願っています。



### <卒業生のみなさんへ>

**小学部**を卒業する3名のみなさんは、それぞれに自分でできることがたくさん増えました。中学部では、できるようになったことを生かしながら友達と協力して新しい活動にたくさん挑戦してください。挑戦することでそれぞれの夢や憧れを膨らませてくれることを願っています。

**中学部**を卒業する4名のみなさんは、中学部の学習をとおして、友達と協力することや将来の夢をもつことの大切さを学びました。高等部では夢を実現するための学習が待っています。

「役割をはたす」「責任をもつ」「協力する」ことができる高校生になってください。

**高等部**を卒業する7名のみなさんは、いよいよ学校生活を終え、社会へと羽ばたきます。

これから向かう先ではそれぞれに楽しいことや辛いことなどがあるでしょう。しかし、どんなときも自分を信じてこれまでに学校で学んできたことを生かし、一つ一つに向き合い自分らしさを存分に発揮していきましょう。

【式辞から抜粋】

